



# 有明東小だより

【サイネリア】花言葉＝「喜び」「快活」

令和5年度 NO. 24

令和6年3月14(木)

文責：校長 西川 ひとみ

「誠」の教育： **知** 進んで学ぶ子 **徳** さわやかな子 **体** たくましい子

## 6年生へ「ありがとう」そして「卒業おめでとう」

いよいよ明日は卒業式です。3月に入り、校内は6年生へ向けて、在校生から感謝と祝福の掲示物等でいっぱいです。

(HP ではカラーでご覧頂くことができます。)



【卒業式までのカウントダウン】



【3年生より】



【1年生より】



【4年生より】



【2年生より】



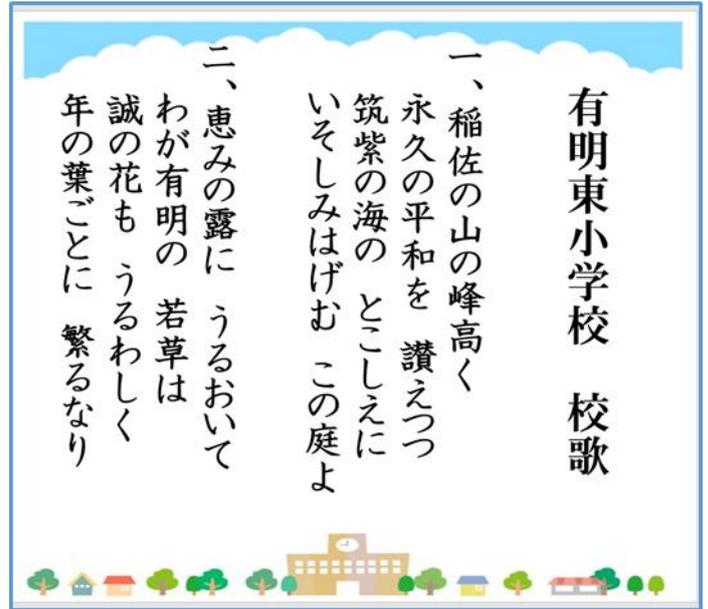
【5年生より】

第24号は【サイネリア】で花言葉は「喜び」「快活」「愉快」です。明日の卒業式では、新たなステージへの門出の喜びとして、ステージに並べ、まさに卒業式に華を添えます。

## ◇ 「恵みの露にうるおいて」 麦がすくすくと成長していきます

有明東小学校の校歌は、記録によると「大正9年生まれ」とあり、今年で104歳になるようです。校歌の歌詞には、「その学校のある地域のすばらしさや歴史」がうたわれていたり、「こんな子どもになってほしい、こんな学校であってほしいという願い」が込められていたりしています。3月に入り、ちょうど二番の歌詞にあるように、朝露に潤って、麦の若草がぐんぐん伸びてきています。つい最近も霜が降りる日がありましたが、三寒四温の日々を経て、朝陽に照らされ光る麦畑のそばを登校してくる子どもたちのたくましい姿と麦の成長が重なり頼もしく思います。

小学校卒業後、何年たっても校歌は忘れることがありません。同窓会等で歌うと当時の思い出がよみがえってくるものです。104年の歴史あるこの校歌、卒業後の6年生にとっても、心の支えになることでしょう。



## ◇ スクールカウンセラーによる心の授業

本校スクールカウンセラーの白石忠明先生が6年生に心の授業をしてくださいました。これから思春期を迎える子どもたちにとって、それぞれの悩みやストレスとどうつきあっていくかについてお話がありました。中学校入学後に始まる新たな人間関係や勉強、部活など、不安な気持ちもあるこの時期、子どもたちは自分のストレスのタイプについて分析したり、ストレスへの対処法について真剣に聞いたりしていました。最後に白石先生から次のような話がありました。



【6年生へ最後の授業】

### あなたの心を守るために伝えたい3つのメッセージ

- こころがつかれるのはあなたが弱いからじゃないよ
- どんなにつらいことがあってもそれはずっと続くことはないよ
- 悩みをひとりで抱え込まないでだれかに話をきいてもらおう

このメッセージは、大人にもあてはまることのように思います。

## ◇ 有明中学校閉校式に向けて

今年度末で閉校となる有明中学校から、本校児童・保護者に向けて「閉校式に来てください」と3月12日に案内文書が届きました。届けてくれたのは、3月8日に卒業式を終えた3名。本校の卒業生ということで懐かしそうに校内をしばらく見て回りました。本校からは、児童代表で6年生2名が案内を受け取りました。

さすがに落ち着いた佇まいの中学生の姿に、あと3年後の卒業生の姿が重なり、感慨深いものがありました。



【立派な卒業生が来校してくれました】